



第9回 みんなの理科フェスティバルに参加しました！

令和8年1月31日～2月1日横須賀市文化会館にて第9回みんなの理科フェスティバルが行われました。このイベントは、所属や世代を超えた「交流の場」、小中学生の理科の先にある「理系キャリア教育の機会」の提供を目的として、横須賀市内を中心とした様々な年齢層の団体や個人による科学的探究活動(理科)の成果を一堂に会し発表しています。

横須賀高校では①科学部のワークショップ②ギフトウ点描画の展示③小中学生の発表会の司会、講評④ポスター発表など、たくさんの催し物に参加しています。

小中学生の発表を聞いて感じたこと

1月31日に文化会館で行われた理科フェスティバルで、小・中学生の発表では、私たちも勉強になるような興味深い発表が多くありました。特に、研究手段や手順については、私たちも参考にできるところが多く、これからの実験、研究で取り入れていきたいと感じました。小、中学生の発表では、食品や生物などの身近なものから、プログラミングなど幅広い分野を研究していて、発表の際にも資料を用いたり、実物を見せたりするなど聞いている人が分かりやすいような発表、説明をしていました。これからのPrincipiaの研究などで生かしていきたいです。

2年3組 飯島 蓮登



ポスター発表をした感想

今回理科フェスティバルという場で、発表させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。様々な方に私たちの研究に触れていただき、私たちでは気づくことができなかった多角的な視点からのたくさんの意見や感想をいただきました。この発表を通して、研究内容を伝えるということがいかに大切で、難しいことなのかを改めて感じることができました。この学びを活かし、グループで今後のポスターセッションなどに向けて改善し続けていきたいと思えます。

1年7組 米山 明咲



科学のワークショップの感想

理科フェスで、私は主に忍者ボカリのワークショップで活動しました。このイベントには子供連れの人が多くいたため、複雑な化学反応について誰にでもわかりやすく説明することを心がけました。中でも印象的だったのは、一人の子供が色が変わる忍者ボカリを見て「なんで色が変わったの!？」とはしゃぐように実験に興味を持ってくれたことです。私はこの実験に興味を持ってくれる人がいるというだけでうれしいと感じました。今後も化学の面白さをいろんな人に届けられるような活動に積極的に参加していきたいです。

1年7組 山本 悠瑠



実際に使用したポスターはC棟1・2階に掲示しています。ぜひご覧ください！